



愛

官能

我慢できない

小説家

を

畳の上で何度も、何度も

1

御井ミチル

は

続きの言葉も

誰に
言われたのかも

「君はまだ
ここに来ては
いけないよ」

「今度
迷い込んだら——」

忘れてしまった

——遠い昔誰かに言われた

それでも
その言葉は
心の奥底に
眠っていたんだろう

いつの間にか
足が遠のくには
十分だった

たまに必要に迫られて
近くを通ることが
あったけれど
なぜだかすごく

ドキドキして…

…あ

あん

はあっ…

私にとって
この「離れ」は

もう…
やあっ

だめえっ！

秘密の小部屋

…

「次にここに
迷い込んだ時には」

「君を食べちゃう
からね」って

——言った
はずだよ

ふああ！

ああっ

ひやあつ

ぐちゃ

ぬちゃ

ぬる

ずき

ぬちゃ

そ...

んなっ...

きゅん

にゅあ

にゅあ

トロ

トロ

タラ...



いっく...

いっく

っ

はむっ

あー

テラ

あ

トロ...

あ

ヒク

あああんっ!

なんで

こんなこと

ヒク

いっく



ここは
私の実家

温泉宿
「徒野亭」
あたしのいえ

専門的なものを
学ぶために
ずっと家を
出ていたけれど

ここに
戻ってくるのも
久しぶりだなあ

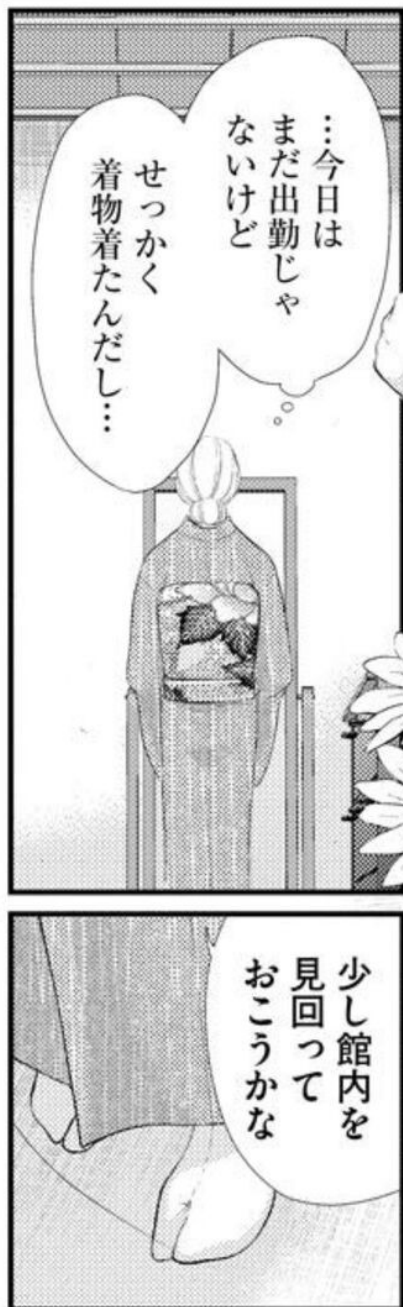
わかおかみ
若女将として
働く

これから私
あたしのましろ
徒野真白は

うん
着付けも
問題なさそうね

少し館内を
見回って
おこうかな

…今日は
まだ出勤じゃ
ないけど
せっかく
着物着たんだし…







!

綺麗な人...

あ…

わあ笑うと
もっと美人…!!

ああの
どちら様で?

どうして
離れに…?

…ああ…!!





...あ

こわや

!!!

バァ

バァバァ



昔から
離れを仕事場として
利用して
くださっているの

ええっ!?
そんなの
初めて聞いたよ!?

そうだった
かしら?

でもアンタ
昔から離れが
苦手だったじゃ
ないの

いつの間にか
近づかなくなっ
ていたし…

…別に
苦手だった
わけじゃ

昔から
いたって
いうなら…

女将
よろしい
ですか?

はい
今行きます

それじゃ先生
失礼します

ええ

私
この人に会ったこと
あるのかしら…?



…え

待って！
二人で
残されても
どうしたら
いいの…！？

はい



自己紹介も
兼ねて

僕がどんなものを
書いているか
知ってほしいな



……ありがとう
ございます…

これから
よろしくね
真白ちゃん

ううつ
笑顔が
眩しい…！

なんで
私にキスを
!?

「綺麗な
ピンク色をして
震える女陰」

「長い間
待ちわびたそこは
想像を絶する
美しさだった」

「食い入るように
見つめると一層
香りが濃くなり…」

——って
これ…!?

ぱたんっ

これっていわゆる
「官能小説」って
やつじゃ…!?

ひやあああつ

ずずず

…あの人が
こんなにエッチなもの
書いてるなんて…

もじ

うゝ
ちん



「秘めた蜜壺から
溢れた甘い汁に
溺れそうになる」

ピク

かっ

「その間にも
私の逸物は
天に向かい
そそり立ち」

「そこに
包まれる瞬間に
大きな期待を寄せて
しずくを零しながら
震えていた」

やっ

なっ
なんですか
いきなり

なにをっ!?

ぱっ

あれ…?
もしかして…





ああ
可愛いなあ

可愛いよ

ふああ

ちゅっ



その顔が
見たかったんだ

僕の手で
乱れる姿を

さつきから
おかしいこと
ばかり――



そして
もっと見たい
君の全てを

淫靡^{いんぴ}な君が
僕をこうした

!!

ぐり...



――なんで
こんな……

あ

はあっ

あ…は…



君の
秘められた
イイ場所…

さわわ…

ト…

くっ

この辺？

ひゃうっ

たっぷり
愛でてあげる

やんっ

ぬちゅ

にちゅ

ぐち

ぬち

にちゅ

ぐちゅ

すちゅ

ちゅっ
ちゅって

はあ

口付けをする
ように

や

あっ

…ああ
君のこども
知っていたって
言っている
ようだ

ふああ！

きゅううう

にちゅ

ぐち

トロ

あ

ずち
ぬちゅ

んっ

そんなこと…
なっ…！

…ねえ君には
自分の意思で

受け入れて
ほしいんだ
…僕を

ベロッ

二人の
初めてを

知り合った
ばかりの人と
なんて…!

く〜だめえっ

——そう
わかったよ

こんなに
淫らなくせに

僕を拒むなんて
いけない娘だ——



ズニユニツ

んっあああつ

…ねっ

ぬぢぢぢ

はぢぢん

こんなのっ…

くち

ぬぢぢ

ぐい

あつ

ずぢぢ

おかしく
なつちやう

ああ

はっ

いくよ

は

や

二人のが
擦れて…!!

はぢぢ

にぢぢ

ぬぢ

はぢぢ

にぢぢ

は

はぢぢん

ああんっ

おにゃ

ズチュニツ

出すからね

ズニユニツ

ハァハァ…

フーッ
フーッ
フーッ

は





とても
綺麗だ

もっと

色付けるからね

これから
もっと

毎月第3
木曜配信

オトナ女子の癒し系
TLマガジン!!



Premium
Kiss
【プレミアムキス】

極上ミダラなHもハッピーHも♪
TLコミック誌!!

毎月第1
木曜配信



禁断
ラブ
【禁断 Lovers】

ぶんか社の
デジタル
コミック誌

毎月第4
金曜配信

Hもドキドキもカワイイも♥
女の子の“好き”が詰まってる!



ラブキス!
【ラブキス! more】

愛され女子のための
甘きゅんTLマガジン

毎月第2
木曜配信



無敵恋愛
S*girl
Anette
【無敵恋愛S*girl アネット】



愛

を

我慢
できな

畳の上で何度も、何度も

2

御井ミチル

は

官能小説家



愛を官能小説家は

我慢できない

疊の上で何度も、何度も

2

御井ミチル



ふう…

ちゅぷ…

やっぱり
わかおかみ
若女将の仕事は
忙しいなあ

——でも
そのおかげで

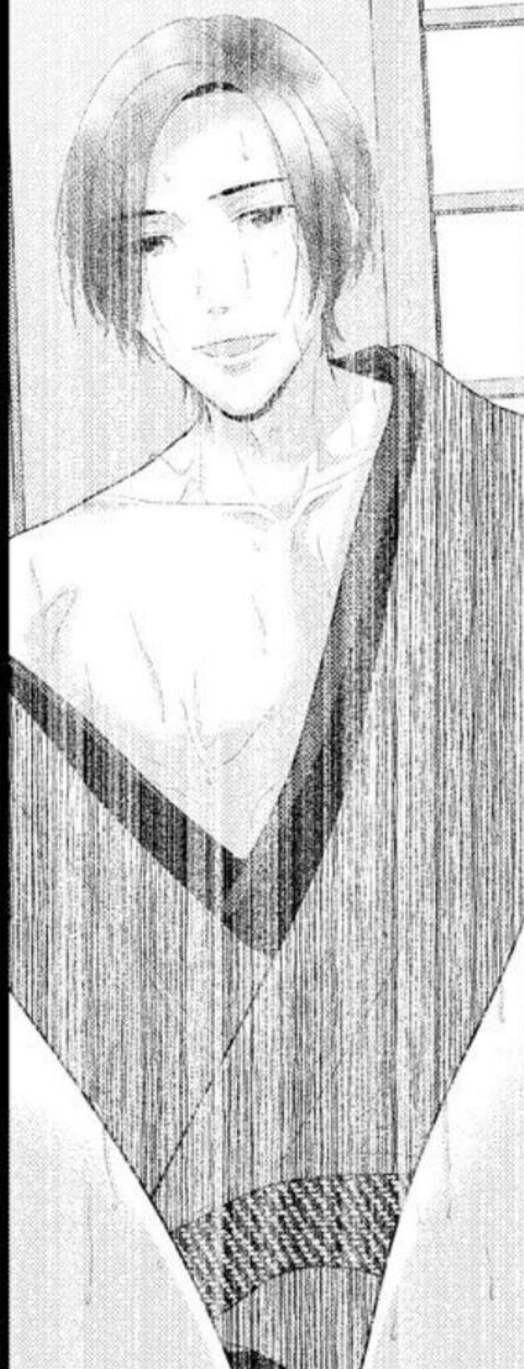


あんなっ…

あんなこと…!

かあ
ああ

あの人に会わずに
すんでいるんだけど



…また離れに
近づけなく
なっちゃったな…

カララ

誰?
仲居さん?





!?

あれ
ましろ
真白ちゃん?



きやあつ

久しぶり
だね

ばしゃ

同じ敷地内に
住んでいるのに

全然
会えなくて
寂しかったよ

がぼ

なっなんで
つかさ
司さんが
ここに!?



僕も
従業員のみんなと
同じ時間帯に
入浴することが
許されているんだよ

ざぼ...

不規則な仕事
だからね

私もう
出ますからっ

そう

司さんの横を
通らなきゃ
出られない……!

わざとだ

出るんじゃない?

ア・レから
僕のこと
避けていたのに

もう
逃げないの?

ギクッ



か
関係って…

あれ？
また
忘れちゃった？

僕に舐められて
ドロドロに
蕩けたこと

何度も何度も
絶頂を迎えたこと…

かああ
あっ

「また」…？

くちゅ
くちゅ

やめて…！

君は美しくて
淫らだね

こうして
自ら胸を
押し付けて
僕を誘う



あつ…!

やつ

くちり

僕と
噂になろう?

ああつ



ちが
違っ

ハッ

ハッ

触れられて
乱れる姿を
見せびらかせて

!?



あんっ

はっ

ハチ
フチ
コポポ...



はあつ

あ

フル

あん

はしゃ



んあ

熱いの…!
お湯が中に…

僕の指を濡らすのは
湯だけ?

くち
ぬる
くちや
ぬる
ぶち



やあつ!

全然
変わらない

んあつ



胸
突き出して
僕に舐めて
ほしいんだね

本当に君は
可愛い子だ

そんな
じゃっ

あ



あの時から

やっぱり私



この人と昔
出逢って
いるんだ...!



は...

もう
だ...め...

フラ...

...真白ちゃん?

真白
ちゃん...!!

あああんっ!

思い出したいけど



…ん

ここは…
離れ…？

そっか
私温泉で
のぼせて…



…なんだか
気持ちいい…

サ…

ごめん
真白ちゃん

ここ数日
君が僕を避けるから
少し意地悪を
してしまった



…司さん…？

「ありがとう」って

…何が
ですか？

よかった
目が覚めたん
だね

…本当は
君にずっと
言いたかった

何が
「ありがとう」
なんですか？



君は
覚えていない
ようだけど

僕たちは
数年前に
出逢っているんだよ

やっぱり…

…昔



僕は純文学を
得意とする
小説家だったんだ

デビュー作で
賞を取り
一躍有名になった



その当時から
徒野亭^{あだしのてい}でお世話に
なっていてね

ここにも
取材が
来ていたよ

そうだった
んですか？

私
全然覚えて
なくて…

え…

スランプに
陥ってしまった
んだよ



メディアは
新進気鋭の作家として
大々的に僕を報じた

だがそれも
続かなかった



僕に
「官能小説を書いて
みませんか」と
言ってきた

純文学で
賞を獲った作家が
官能小説…
話題性は抜群だ



当時の
担当編集も
焦ったんだろう



今思えば
僕を思ってた言葉
だったと思う

以前から
「文章に色気がある」と
言ってくれていたから



だがプライドの高かった僕は
ネームバリューがあるうちに
利用し尽くされるんだと
感じて

素直に頷くことが
できなかった

そんな気持ち
からか

PCに向かってみたものの
結局何も書けず…

もう筆を折る
しかないかと思った
そのとき



おにいちゃんはお客さま？

君に出逢った

こんにちは

私
徒野真白です

……
眩まぶしかった



絶望に
飲み込まれた僕を
救いにきた天使かと
見間違うくらいに――



!?
なんなん
で
そんな……!

なぜって?
それは

それとは真逆の
男を虜にする
美しい肢体しな

一瞬で映像が頭を
駆け巡ったんだよ

純粹無垢に
陽の光で輝きながら

妖艶な
数年後の君が

アイディアが湧いて止まらなくなった

最高傑作になった

カア
カア
カアッ

終

未来の君をモデルにした官能小説の処女作は

アーンッ

わっ
「私がモデル」って
そういう…!?

でもそんなんっ

あのととき君に出逢えていなかったらとつくに廃業していたと思う

ドキ

ありがとう

大好きな小説を
書き続けさせて
くれて

僕には君が
必要なんだ

これからは傍に
いてくれないか？

出逢ってから

少し
ひょうひょう
飄々とした姿とは
違う



真摯な言葉

あ…
司さ—

水
飲むかい？

つごほ

くい

コホホホ

んっ…！

く

ふ…

は…

はあ

ハ—







すい

んっ

ぬち...

ぐちゅり

あ...

すい

はあっ...

すい
すい...

は

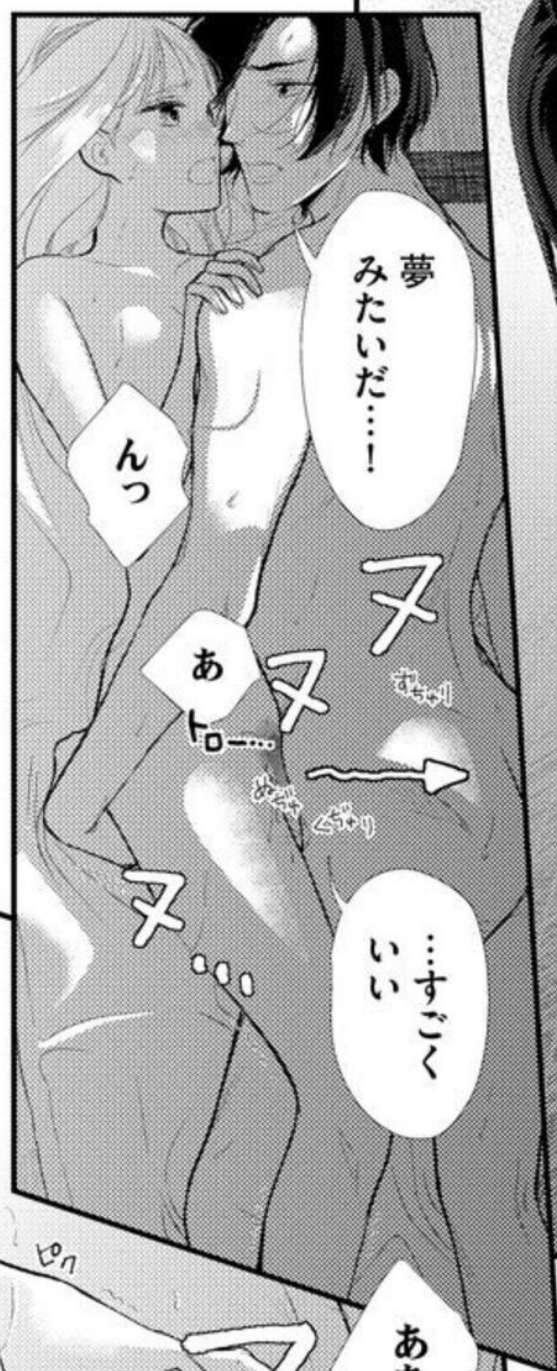
ふ...

あ...あ

...やっとだ...

やっと君と
繋がれた...

は





あ？

…なに
この感じっ…

びるる

びる

びる

あ…？

ゆっくりと
奥を突かれている
だけなのに

フッ
フッ
フッ

〇〇〇



フッ

ズッ

フッ
フッ

ああ！

んあっ

フッ
フッ

ズッ

びる

トロ

トロ

トロ

フッ
フッ

フ…



すごいっ
…な…

くうっ

う…

はあ

は



ズッ

司さ…

なにこれ…

どこからが
相手の身体か
わからないくらい

フッ

…は

君
だから

フッ
フッ

きゅん
きゅん



あ

グニ

グニ

ふあっ

あっ

触れ合っている
ところ全部で
感じちゃう？

フッ

ズッ
フッ
フッ

フッ
フッ

こんなの
知らない……!

ア
ビュッ!!
ビュッ
ビュッ

ぐちゃん

ビュッ

真白ちゃん……!

二人とも
ドロドロだね

……司さん

ふん

はあ
は

はい

はあ

は

はあ

はあ

は……

は





愛してるよ
真白ちゃん

毎月第3
木曜配信

オトナ女子の癒し系
TLマガジン!!



Premium
Kiss
【プレミアムキス】

極上ミダラなHもハッピーHも♪
TLコミック誌!!

毎月第1
木曜配信



禁断
ラビーズ
【禁断 Lovers】

ぶんか社の
デジタル
コミック誌

毎月第4
金曜配信

Hもドキドキもカワイイも♥
女の子の“好き”が詰まってる!



ラブキス!
【ラブキス! more】

愛され女子のための
甘きゅんTLマガジン

毎月第2
木曜配信



無敵恋愛
S*girl
Anette
【無敵恋愛S*girl アネット】



愛

官能

我慢できない

小説家

を

畳の上で何度も、何度も

3

御井ミチル

は



官能小説家は

愛を我慢できない

畳の上で何度も、何度も

3

御井ミチル



温泉宿
徒野亭

ありがとうございます
ございました



またのお越しを
お待ちしております



あれ？



あそこ
にいるの
は
司さん？

ひら

っ!?

なに
その顔...!!

ドキッ



あんな…
し幸せ
いっぱい
みたいなの



ましろ
真白ちゃん？

ふああい！



仕事の打ち合わせ場所
ここにしておいて
もらったんだ

いつの間に…
というかなんで
ロビーに!?



真白ちゃんの顔が
見たくなくてね

また
蕩けた顔で
そんなこと…!



心臓が
持たないよ…!

お取り込み中
失礼します

もしかして
あなたが先生の？





私のことを
よく思っていない
みたい…

原稿は
月末までに
お願いします

それでは
失礼します

お疲れさま

…ふう
参ったな



もしかして
執筆進んでない
んですか？



うん
ちよつとね



心配して
くれるの？
ありがとう

…あ
そうか



前にも
ひどいスランプが
あったって…

…大丈夫
ですか？



真白ちゃん少しだけ
僕の仕事を手伝って
くれないか？

え……



官能小説家の
手伝いってなに
!?



司さんにとって小説は
とても
大切なものだって
知ってるから

私にできることなら
手伝いたいけど……



……ダメかな？
執筆が進まないのは
真白ちゃんのせい
なんだけどなあ

私ですか!?



そうだよ僕を
「幸せボケ」にした
張本人の真白ちゃん

なっ!?



あゝのときの
真白ちゃんが
可愛くて可愛くて

思い出す時間が
増えてしまつてね

ちゅ



…僕に
しがみついて

トロトロで
熱くて――

こっ
こんな
ところで！

わかりました
手伝います
からっ！

ありがとう
真白ちゃん

…私だけ？

助かるよ
頼めるのは
君だけだから

田辺さんには
頼めないこと
なんだ！

……
そっか！

数日後

僕の目の前で
自慰して
ほしいんだ

僕は
女性の自慰を
見たことがない

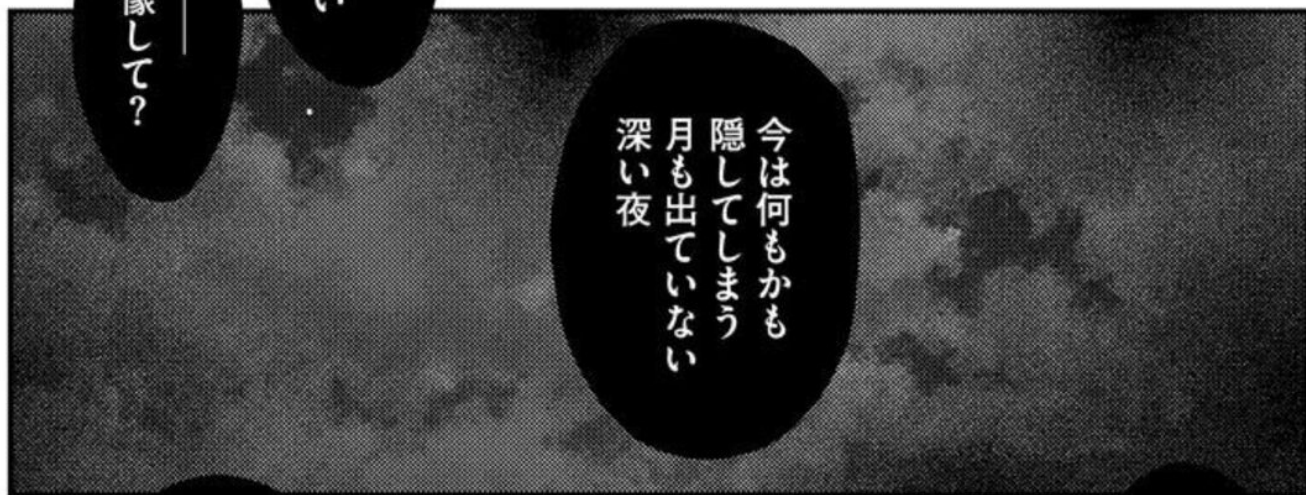
だから
リアリティーの
ないものしか
書けなくて

は……？

次の作品に
ヒロインの
自慰シーンを
入れたんだけど

そこで執筆が
止まってしまっ
ているんだよ
それで――

むむむ無理です
絶対無理！





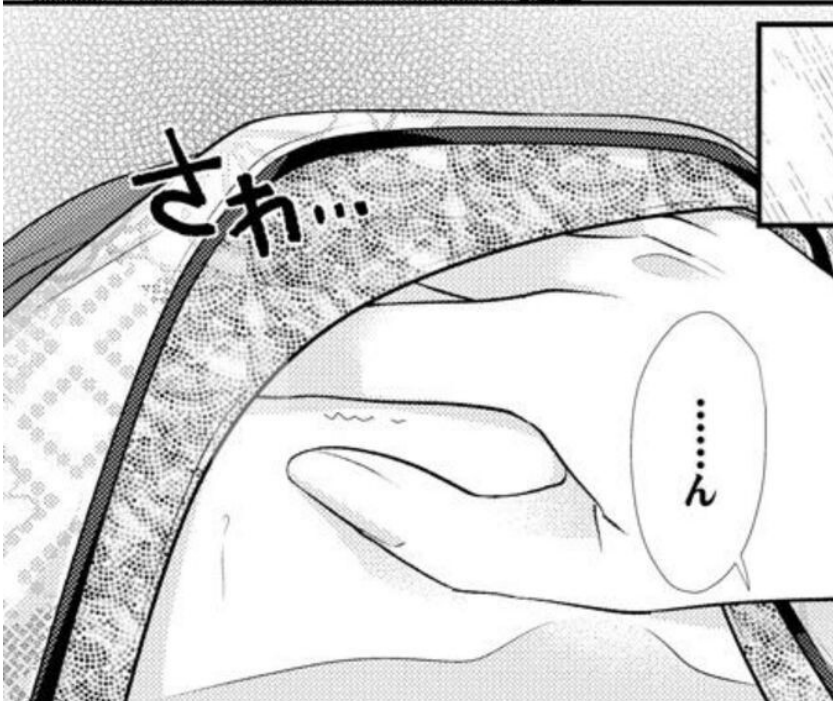
着物の
合わせ部分から
手を入れて

乳房に
触れてごらん



…は

司さんの
優しい声が
心地いい…



さあ…

…ん



導かれるまま



はあ…



爪先で軽く
引っ掻いたり

あ



強弱をつけて
つねってみたい

ん…あつ



そう優しく…
優しく

もぞ…

ふ…

触れて
しまう…!

次は桜色の
可愛い乳首へ
指を這わして…



あれ？
真白ちゃんの
反対の手…

ふ

ぎゅ

あつ

もぞ

はあ

もじ…

もうそこ
あるの？



…ああ
だいぶ
焦れていたんだね



やつ

私…！

かあ

いいんだよ
そのままで

びゅ



色が
変わっている

じゅわ…

っ







真白ちゃん…



はあっ…

っ!?

もしかして

私を見ながら

司さんも
してるの？

ふあああっ…!

真白ちゃんっ



あっ

あ

もうっ…!

はあっ



は

…もう一本…
指を増やして…



は

は

は

は

ぬち

にち

にち

にち

にち

にち

はっ

…真白ちゃんっ！

はあっ

う

チュクッ

チュクッ

チュクッ

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる

はる



っ真白ちゃん…!!

あああんっ!

あ…

ふあっ

はっ…

トロ…

トロ

トロ

ぎんぎん

私…

私っ

っ
司さん…

っ

はあ

は

は

はっ
はあ



田辺です

!?

電話しても
返答がなかったので
直接伺いました



…ちよつと
出てくるよ



あー
今入浴後で
だらしない格好を
しているんだ

行っちゃった…



真白ちゃん…

司先生
いらっしやいますか？



わかりました
それでは

原稿進んで
いなさそう
ですね

…すまない



だから
ここで

それは
失礼しました



ええっ!?
担当だからって
そこまでする…!?



私が
先生の前で
自慰をします



こう言っでは
なんですが

おういちろう
司皇一郎の
相手にしては
真白さんはあまりにも
平凡に見えました



もしかして
二人は
そういう関係
なの!?



彼女には
先生の相手は
無理だと
思います

私は純文学を
書かれていた頃から
先生の作品に触れ
…ずっと先生に
憧れてきました

そんな作家の
担当になれて
本当に幸運だと
思っています

先生のためなら
なんでもできます

ですから



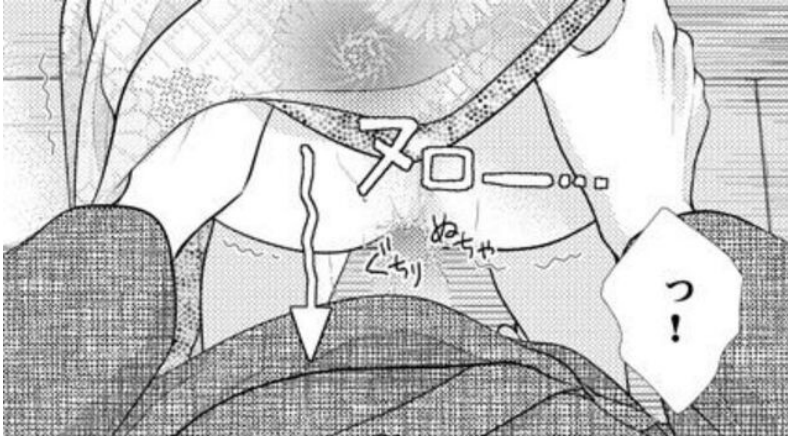
真白ちゃんから

……初めてのキスだ

あっ…!?

はっ







声がっ

もう...

っ



...はっ
安心していい

...ん
ちようど今

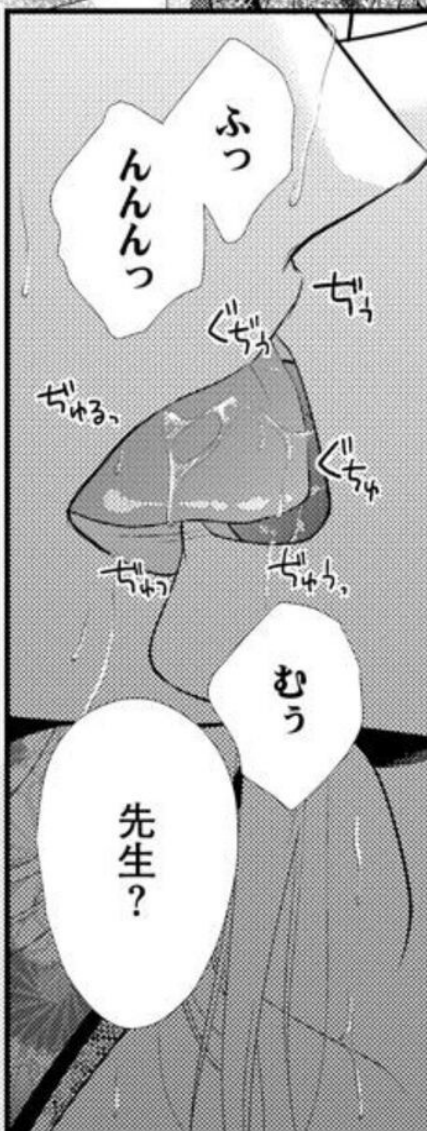
ふあっ

はん

言葉が
湧き出ている
ところ...だっ...

んん...あ

あっ



ふっ
んんんっ

むう

先生？



それが
どういう結果になるかも
計算ずくなんだろう

：私は
いい作品を
作るためなら
なんでも
協力しますよ

先生――

っあああ!!

ああっ!

んっはあ

はっ

は

はあ

は

はっ

はあ





あ…はっ！

やんっ

はちゅん

はちゅ

はちゅ

スク

お…
皇一郎さんっ…？

…ああ…

ひゃああっ!!

あっ

司さっ…

はあ…
「皇一郎」
だよ

大きくなって
しまった

真白ちゃん
ずっと
想ってきた

あつ

花開くように
成長してきた君を

んああつ
あつ

僕の心を
いつときも
離さなかった

君を
愛してる

愛しているよ

はあつ

ああああ!!

…このとき
皇三郎さんに
翻弄されていて

おぼろげ
だったけれど

…今までも…
これから先も
ずっと…ね

…確かに感じた

微かな違和感



毎月第3
木曜配信

オトナ女子の癒し系
TLマガジン!!



Premium
Kiss
【プレミアムキス】

極上ミダラなHもハッピーHも♪
TLコミック誌!!

毎月第1
木曜配信



禁断
ラブ
【禁断Lovers】

ぶんか社の
デジタル
コミック誌

毎月第4
金曜配信

Hもドキドキもカワイイも♥
女の子の“好き”が詰まってる!



ラブキス!
【ラブキス! more】

愛され女子のための
甘きゅんTLマガジン

毎月第2
木曜配信



無敵恋愛
S*girl
Anette
【無敵恋愛S*girl アネット】